

今号の主な記事

- ◇年末年始の業務案内 ..... 4・5面
- ◇「西宮市地域防災計画」など  
素案への意見を募集 ..... 2面
- ◇財政事情を公表 ..... 5面
- ◇「二十歳を祝うつどい」開催 ..... 6面

# 西宮 市政ニュース

Nishinomiya Muni. Bulletin

毎月10日・25日 発行

発行／西宮市役所  
〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号  
TEL／0798-35-3151(代表)  
編集／総合企画局市長室広報課  
TEL／0798-35-3400  
Eメール／vo\_kouhou@nishi.or.jp

市役所本庁舎1階正面玄関ロビーで  
の登庁式。山田市長が抱負を述べた  
後、花束の贈呈を受けました

## 3期目 山田 知市長 初登庁



11月16日の市長選挙で3選された山田知市長は、11月25日に市民の皆さんや市議会議員、市職員約200人が出迎えるなかを初登庁し「だれもが住みたい、住み続けたいと願う、文教住宅都市『西宮』の発展のために、全力をあげて取り組んでまいります」と3期目の市政執行の抱負を述べました。

## 文教住宅都市「西宮」

### さらなる発展へ

私は平成12年に市長に就任して以来、2期8年にわたり、震災からの復旧・復興、財政基盤の確立や行財政改革、そして今年4月の中核市への移行など、わがまち西宮のために全力を尽くしてきました。

そして今回の選挙期間中、多くの市民の皆さんと接し、声をお聞きしてきましたが、ふるさと西宮を愛する皆さんの熱い思いがひしひしと伝わってきました。

市民の皆さんと接するなかで今後の行政の遂行につきまして改めて感じましたことは「すべては市民のため」、「この強い決意のもと、わがまち西宮をどうよりもすばらしいまちに」というこうとうの思いであります。

いま西宮は、あの阪神・淡路大震災を乗り越え、からは見事に復興し、住む人は増え、活気ともぎわい、子どもたちの明るい声に満ちあふれております。

引き続き、だれもが住みたい、住み続けたいと願う、文教住宅都市「西宮」の発展のために、全力をあげて取り組んでいきます。

皆さん、市職員の皆さんのあるさと西宮を愛する心、そしてたゆまぬご協力とご努力のたまものであり、改めて心から感謝を申し上げます。

今回の選挙期間中、私は1期目を震災からの復興の取り組みを行うなかで、3段跳びでいいますホップの時期、2期目を財政重建に取り組みましたが、この時期をステップの時期、そして3期目を中心市としてさらに発展させるジャンプの時期と位置づけました。

この愛する西宮を「みんなの夢がかなうまち」とするために、7つの目標73項目にわたる公約を掲げさせていただきました。この公約を確實に実行していこうという思いであります。

西宮は、あの阪神・淡路大震災を乗り越え、からは見事に復興し、住む人は増え、活気ともぎわい、子どもたちの明るい声に満ちあふれております。



英語セミナーで1週間、英語でのコミュニケーションに挑戦する中学生（総合教育センター）

## 英語の使える中学生

国際社会での活躍を目指して

近年、グローバル化の進展とともに国際共通語である英語でのコミュニケーション能力を身につける必要性が高くなっています。

教育委員会は未来を担う市立中学生の実践的な英語力の向上を願って、平成20年度に「英語力アップ・アクションプラン」を策定しました。中学生の英語力向上への取り組みを紹介します。

問合せは総合教育センター（0798-67-6850）へ。

市は昭和58年に初めて姉妹都市スパーク市から外国人英語指導助手を迎えて、英語によるコミュニケーション能力の向上をめざしてきました。

また、60年からはスポーツケン市へ市立中学生を派遣する海外生活体験プログラムを実施してきました。

国際社会のなかで活躍していくには、子どもの頃から異なる文化や習慣をもつ人との触れ合いが大切です。また、さまざまな人との交流のなかで互いの個性を認め合い、ともに生き支えあう力の基礎を培っていくことが求められています。

そこで、外国人の人たちと自信をもって自分の考え方や意思を積極的に伝えあうためのコミュニケーション能力を育成していきます。母国語である日本語を大事にしたうえで国際共通語としての英語を使える中学生の育成に向けて外国人の皆さんから協力を得ながら「夢はぐくむ教育のまち西宮」を推進していきます。

したうえで国際共通語としての英語を使える中学生の育成に向けて外国人の皆さんから協力を得ながら「夢はぐくむ教育のまち西宮」を推進していきます。

外国人英語教育サポートセンター  
実践的な英語に触れる

市内在住の英語のネイティブスピーカーの協力を得て、「外国人英語教育サポートセンター制度」を始めました。

外国人英語指導助手による指導期間も延長するなど、英語の授業の活性化を図っています。

中学生ができるだけ実践的な英語に触れ、英語でのコミュニケーションの機会を多くもてるよう取り組みを進めています。

引き続き、だれもが住みたい、住み続けたいと願う、文教住宅都市「西宮」の発展のために、全力をあげて取り組んでいきます。

次号は1月1日号です  
(配布は12月29・30日)

配布についての問合せは西宮市シルバー人材センター  
英語セミナーで1週間、英語でのコミュニケーションに挑戦する中学生（総合教育センター）

中学生英語セミナー  
1週間、英語で会話

「中学生英語セミナー」は、外国人の皆さんとの活動を通じて、楽しみながら英語のコミュニケーション能力の向上を図るもので、昨年度までのセミナーは夏休みに2泊3日で山東少年自然の家で行いました。今年度から総合教育センターで1週間、外国人の皆さんとの触れ合いのなかで英語でのコミュニケーションや異文化の理解、国際感覚の習得に努めました。

生徒は、学校生活や好きな季節などについて英語で話しあったり、最近のニュースや日本文化など毎日異なるテーマで英作文を作ったりしました。セミナーに参加した生徒は「ディスカッションを通していろいろな考え方を知ることができました」と話していました。

西宮めぐりなど  
西宮の名所を英語で案内

「中学生英語セミナー」を終えて、実践的な場面で英語を使って体験活動をするために、まちに出て外国人の皆さんに県立甲山森林公園や北山緑化植物園など西宮の名所を生徒が英語で案内したり、お茶会と一緒に楽しんだりする「西宮めぐり」を行いました。

また、生徒が身につけた英語力を試す場として、英語学習への動機付けのひとつとして英語検定へのチャレンジを推奨しています。

さらに日ごろの英語学習の成果を表する「英語暗唱・スピーチング大会」を毎年開催しています。